



1997~1998

# 函師ガバナー公式訪問報告書

1997.10:29

ロータリーの心を Show Rotary Cares

会長 高山 義 則

幹事 榎田 浩 典

鹿児島西ロータリークラブ



# 目 次

図師鎮雄ガバナー公式訪問日程	1
公式訪問プログラム	1
クラブ協議会プログラム	2
委員会構成	4
会長報告	5
幹事報告	6
会員移動状況・例会プログラム実績・行事、会議実施状況・出席状況	7
会計報告	9
クラブ奉仕委員会報告	9
会員増強委員会報告	10
会員選考委員会報告	11
職業分類委員会報告	11
出席委員会報告	12
親睦委員会報告	12
ロータリー情報委員会報告	13
会報・雑誌委員会報告	14
プログラム委員会報告	15
広報委員会報告	16
S A A 委員会報告	16
職業奉仕委員会報告	17
ボランティア委員会報告	18
社会奉仕委員会報告	19
ローターアクト委員会報告	19
青少年奉仕委員会報告	21
インターアクト委員会報告	21
国際委員会報告	23
ロータリー財団・米山奨学委員会報告	24

鹿児島西ロータリークラブ  
ガバナー公式訪問プログラム

---

《平成9年10月29日(水)》

ガバナー 関 師 鎮 雄 殿

分区代理 國 安 勝 夫 殿

1. 会長・幹事・会長エレクト(副会長)・副幹事との協議

(11時00分～12時00分)

(山形屋7F フェニックス)

2. 公式訪問例会

(山形屋7F 社交室)

(12時30分～13時30分)

- ① 点 鐘……………会 長
- ② ロータリーソング
- ③ 会長挨拶……………会 長  
ガバナー紹介, 分区代理紹介
- ④ ゲスト, ビジター紹介……………会 長
- ⑤ 会務報告……………幹 事
- ⑥ 出席報告……………出席委員会
- ⑦ ニコニコ報告……………親睦委員会
- ⑧ ガバナーアドレス……………ガバナー
- ⑨ クラブバナー贈呈……………会 長
- ⑩ 点 鐘……………会 長

3. 写真撮影

(13時30分～13時40分)

4. クラブ協議会

(14時00～16時00分)

# クラブ協議会プログラム

司 会……幹事 榎 田 浩 典

1. 点 鐘

2. 会 長 挨 拶……………会 長……………高 山 義 則

3. ガバナー挨拶……………ガバナー……………岡 師 鎮 雄

4. 分区代理挨拶……………分区代理……………國 安 勝 夫

5. 委員会報告

会 長 報 告……………会 長……………高 山 義 則

幹 事 報 告……………幹 事……………榎 田 浩 典

会 計 報 告……………会 計……………小 園 正 人

クラブ奉仕委員会報告……………委員 長……………海江田 卓

会員増強委員会報告……………委員 長……………小 山 幸 義

会員選考委員会報告……………委員 長……………中 川 宏

職業分類委員会報告……………委員 長……………佐 伯 寿 郎

出席委員会報告……………委員 長……………山 下 健

親睦委員会報告……………委員 長……………長 柄 英 男

ロータリー情報委員会報告……………委員 長……………川 平 建次郎

会報・雑誌委員会報告……………委員 長……………坂 元 明 雄

プログラム委員会報告……………委員 長……………柴 山 一 清

広報委員会報告……………委員 長……………中 村 一 雄

S A A 委員会報告……………委員 長……………板 木 泰 文

職業奉仕委員会報告……………委員 長……………有 馬 職 男

ボランティア委員会報告……………委員 長……………水 流 洋

社会奉仕委員会報告……………委員 長……………野 添 良 隆

ローターアクト委員会報告……………委員 長……………南 徹

青少年奉仕委員会報告……………委員 長……………竹 下 洋

インターアクト委員会報告……………委員 長……………玉 利 賢 介

国際奉仕委員会報告……………委員 長……………天 本 美 信

ロータリー財団・米山奨学委員会報告……………委員 長……………須 田 正 己

6. 講 評……………ガバナー……………岡 師 鎮 雄

分区代理……………國 安 勝 夫

7. 会 長 謝 辞……………会 長……………高 山 義 則

8. 点 鐘

1997～1998年度国際ロータリー第2730地区

ガバナー ~~ミニ~~ 図師 鎮雄

(ず し しずお)

大正14年10月29日生

本籍地 宮崎県西都市中央町2丁目6番地

現住所 同 上



#### 【ロータリークラブ経歴】

昭和60年 6月	西都ロータリークラブ入会初代会長
平成 2年 7月	宮崎県中部分区代理 青少年奉仕地区委員
平成 2年11月	米山功勞者
平成 4年 6月	西都ロータリークラブ第8代会長
平成 5年 4月	ベネファクター
平成 5年 6月	マルチプル・ポール・ハリス・フェ ロー

#### 【学歴及び職歴】

昭和23年 4月	熊本医科大学医学専門部卒業
昭和24年 4月	熊本医科大学産婦人科教室入局
昭和27年10月	熊本大学医学部助手
昭和29年 7月	西都市にて図師産婦人科医院開業
昭和29年10月	医学博士
昭和48年4月～4年間	宮崎県医師会監事
昭和52年4月～6年間	西都市・西児湯医師会副会長
昭和58年4月～8年間	西都市教育委員
昭和60年4月～4年間	西都市・西児湯医師会会長

#### 【基本方針】

1. グレンW.キンロスRI会長のテーマ「Show Rotary Cares」に沿い、ロータリアンとしての意識を高揚し、四大奉仕のすべての部門を通じて「ロータリーの心を行動で示す」ことにより職域・地域、さらに国際社会に奉仕を拡げる。
2. バランスのとれた奉仕を目標とし、RI会長賞プログラムに参加する。
3. 新リーダーシップ・プランの一部を採用することによって分区分代理の機能を強化し、クラブおよび地区の活性化を計る。

#### 【強調事項】

1. 増強と拡大  
第2730地区の純増は最近年を追って厳しくなっている。今年度は特に退会者の防止に努め、各クラブの純増「最低2名」を目標としたい。  
最近鹿児島市に次いで宮崎市に新クラブの結成をみたが、更に1クラブの増加を目指す。
2. 新世代育成  
ローターアクト・インターアクトクラブの増強・拡大を計る。  
今年度も引き続き新世代会議を推進し、ライラは分区分毎に開催する。
3. 社会奉仕  
特に環境保全・交通事故・家庭教育等に関するクラブレベル・地域密着型の奉仕活動を推進する。  
退職者対策としてプロバスクラブの充実を計り、各分区分に1クラブの新設を目標とする。
4. 世界社会奉仕  
書き損じハガキ(未使用)回収で、識字率の低い国に簡便な教育施設を建設する奉仕活動(寺子屋運動)に取り組む。
5. ロータリー財団への協力  
会員の財団に対する理解を深め、年次寄付1人110ドルの維持を目標とし、恒久基金への協力をお願いする。同時に、シェアシステムの活用を計る。
6. 米山記念奨学会への協力  
第2730地区の寄付額は、例年34地区中最下位グループである。米山の意義を理解し関心を高めるため、各クラブに米山奨学委員会または米山担当者において、1人10,000円(全国地区平均約16,000円)を目標に協力をお願いする。

# 鹿児島西ロータリークラブ理事・役員・委員会構成

1997.7~1998.6

(理事) 会幹	(理事) 直前	(理事) 職奉	(理事) 社奉	(理事) 青奉	(理事) 国奉	(理事) 副会幹	(理事) SAA	(理事) SAA	(理事) 会計	海江田	岩板中	諏訪園	小園	卓一文	泰英	幸隆	正人	
長事	前会長	委員長	委員長	委員長	委員長	副会幹	SAA	SAA	計	海江田	岩板中	諏訪園	小園	卓一文	泰英	幸隆	正人	
高板玉	山田川馬	義浩哲	則典生	高板玉	山田川馬	義浩哲	則典生	高板玉	山田川馬	義浩哲	則典生	高板玉	山田川馬	義浩哲	則典生	高板玉	山田川馬	義浩哲
有野竹	添下本	良美	男隆洋	有野竹	添下本	良美	男隆洋	有野竹	添下本	良美	男隆洋	有野竹	添下本	良美	男隆洋	有野竹	添下本	良美

委 員 会		委 員 長	副 委 員 長	委 員		
ク ラ ブ 奉 仕	ク ラ ブ 奉 仕	海江田 卓	太原 春雄	小山 幸義 山下 健 坂元 明雄	中川 宏 長柄 英男 柴山 一清	佐伯 壽郎 川平建次郎 中村 一雄
	会 員 増 強	小山 幸義	古木 圭介	三角桂次郎	中尾 正昭	田中 寛吉
	会 員 選 考	中川 宏	江夏 洋	玉川 哲生		
	職 業 分 類	佐伯 壽郎	岩元 基	木治屋克巳	平岡 禎吉	森永 茂樹
	出 席	山下 健	宮脇真一郎	三反田藤男	田崎 一郎	中園 雅治
	親 睦	長柄 英男	正 建二郎	深尾 兼好 藤安 秀一 日高 好久 深堀 孝 徳留 忠敬	諏訪園 勳 藤井 寛久 諫山 清隆 森田 幸治 藤川 毅	鉦之原大助 村田 龍宏 江口 一 下田 時生
	ロータリー情報	川平建次郎	中嶋 健	高井 敏治 高橋 良明	片平 可也	染川 周郎
	会 報 ・ 雑 誌	坂元 明雄	山下 皓三	山元 正明	本田 亨	小田代憲一
	プ ロ グ ラ ム	柴山 一清	加藤 一徳	水渕 清治 東郷 三郎	松田 忠臣	樋波 良一
	広 報	中村 一雄	江口 清隆	村田 和雄	別府 洋	
職 業 奉 仕	職 業 奉 仕	有馬 戦男	山田 晴彬	岩男 秀彦	竹下 威	坂木 貞剛
	ボランティア	水流 洋	山下 皓三	古木 圭介 宮脇真一郎 加藤 一徳 菅 富男 池田勝一郎	江夏 洋 正 建二郎 江口 清孝 福地 眞 黒木 幸一	岩元 基 中嶋 健 山田 晴彬 山下 和磨 新川 靖博
社 会 奉 仕	社 会 奉 仕	野添 良隆	菅 富男	池口 恵観	岩元 紀彦	
	ローターアクト	南 徹	福地 眞	大平 重隆 長船 康治	松田 健一	有働 裕史
青 少 年 奉 仕	青 少 年 奉 仕	竹下 洋	山下 和磨	若松喜八郎	桜美 義明	
	インターアクト	玉利 賢介	池田勝一郎	永松 実男	福田 一郎	
国 際 奉 仕	国 際 奉 仕	天本 美信	黒木 幸一	徳田 基	上原 満	前田樹一郎
ロータリー財団	ロータリー財団	須田 正己	新川 靖博	福田 正臣	原田 華男	
ロータリー賞推薦	ロータリー賞推薦	海江田 卓	有馬 戦男	野添 良隆	竹下 洋	天本 美信

地区増強委員会委員 岩田 泰一  
地区青少年奉仕委員会委員 古木 圭介

地区ボランティア委員会委員 高山 義則

# 会 長 報 告

会長 高山 義 則

## 〈クラブ運営基本方針〉

わがクラブは今年、創立35周年を迎えるが本年度は、再度ロータリーの原点に戻り、グレンW・キンロスRI会長のテーマ「Show Rotary Cares」を基に、また「あなたはロータリアン。そしてあなたが主役」をクラブ標語に会員の意識を高揚し、クラブの活性化に努め、バランスの取れたクラブ活動を積極的に進め、四大奉仕活動を通して職域・地域、さらに国際社会に奉仕の輪を広げるよう努力し、「ロータリーを肌で感じ」、「ロータリーをエンジョイする」一年、そして函師鎮雄地区ガバナーの地区運営方針に沿った、地区大会テーマ「高めようロータリーの心、広げよう奉仕の輪」を実践する年度としたい。

## 〈計画事項と概況報告〉

### 1. 楽しい例会と内容の充実

○座席配置の工夫 (SAA) ○コーヒー・ワインコーナーの設置 ○卓話プログラムの工夫 ○会長挨拶 ○欠席へのアプローチ ○会員の意見 ○新入会員の指導

実績：出席率の向上、自クラブ例会出席率の向上

### 2. 会員増強

○退会者防止 (親睦委・学習会・情報委) ○クラブ活動の充実と広報 ○後任者を確保に ○100名へ挑戦 ○再入会者の勧誘

実績：5名純増現在97名 (10月1日現在)

### 3. 会員親睦を深める (多人数クラブの問題点)

○各委員会の団結と協調 (委員会活動充実) ○学習会・インフォーマル (親睦クリスマス等) ゴルフ・種々の懇親会 ○新入会員に大切に話かける

実績：相互理解と協働活動、退会防止、会員増強

### 4. ロータリーの理解と奉仕活動の充実 (四大奉仕の活性化)

○月1回の学習会 (新入会員の教育とロータリー学習、各奉仕月間の学習) ○各奉仕月間と卓話 ○情報委員会の充実 ○会長説明 ○インターアクト・ローターアクト活動への参加 ○広報活動

実績：プロバスクラブ設立、新世代育成 (職業選択フォーラムと討論)、ボランティア活動、地域密着型社会奉仕、各委員会の活性化と充実。

## 〈希望活動〉

精神的貧困、飢餓と家庭教育の啓蒙活動 (社会奉仕委)

### 5. 財団への協力 (10月米山月間)

○年次1人110ドル、米山記念奨学会へ1人10,000円を目標に協力。

○今年は特に米山記念奨学会の理解に努め米山功労者を増やしたい。

実績：9月現在2730地区1位。

### 6. 世界社会奉仕への協力 (地区重点活動)

(書き損じハガキ回収運動による寺小屋設立運動の全力支援)

○国際奉仕委員会主導で活動開始 ○回収箱を受付に置く (8月より)

○インター、ローターアクトの協力を得て学校、一般社会へ運動を拡大したい

実績：会員の協力で回収されつつあり。委員会の協力と活性。

### 7. クラブの充実と活性化

○理事会、各委員長会議を大切に ○活動の広報 ○各委員会人数 ○活動は多数で全員で協力 ○奨学生、GSE、交換学生、インター、ローターアクト、ビジターを大切に。

実績：会員意識の向上、海外留学生決定 (1名)、活動の報道、青少年学生交換 (姉妹クラブ (米国)) ローターアクト交換 (韓国) ヨーロッパ (ナポリ) 姉妹クラブ申し入れ。

## 幹事報告(クラブ概況報告)

榎田 浩典

1997～98年度がスタート、幹事をお引き受けし、早いもので10月で四ヶ月を迎えます。

不勉強でこの大役を全う出来るか大変不安でありましたが、事務局が2人体制で充実、SAAの司会進行で例会運営もスムーズに行われています。

また、会長さんの良きアドバイスと指導力、各委員長さんはじめ会員皆様のご協力に依り、その責を果せそうに思います。

これから上期、年末までは①プロバス・クラブの設立準備②職場訪問③新入会員オリエンテーション④ガバナー公式訪問⑤職業選択フォーラム⑥地区大会への参加⑦年次総会⑧クリスマス家族会等の行事が計画されています。合わせてロータリー財団寄付・寺小屋運動への協力・会員増強による100名達成も重要な課題であります。

本年度RIテーマ「ロータリーの心を」を以って、鹿児島西ロータリークラブの充実と発展を期したいと考えます。

会員の皆様のさらなるご協力をよろしくお願い申し上げます。次頁以降に会員異動状況外のご報告をさせていただきます。



## 1997. 7. 1～1997. 9. 30会員移動状況

会 員 名	入 退 会 日	委 員 会 名	会 員 数
桜 美 義 明	'97. 7. 2 入 会	青 少 年 委 員 会	93名
二 宮 幸 一	'97. 7. 10 退 会	転 勤	92名
別 府 洋	'97. 7. 30 入 会	広 報 委 員 会	93名
下 田 時 生	'97. 8. 20 入 会	親 睦 委 員 会	94名
徳 留 忠 敬	'97. 8. 27 入 会	"	95名
森 田 幸 次	'97. 9. 3 入 会	"	96名
藤 川 毅	'97. 9. 10 入 会	"	97名

## 例会プログラム実績

7 月	2	第1704回	クラブ協議会（本年度の方針・計画）
	9	第1705回	クラブ協議会（決算報告, 予算審議）
	16	第1706回	インフォーマルミーティング（ロータリーの心を）について
	23	第1707回	サンタローザ交換学生, 歓迎例会
	30	第1708回	会員卓話（柴山一清君）「ハ・は・歯」
8 月	6	第1709回	クラブフォーラム（会員増強について）
	20	第1710回	卓話(株)電通九州鹿児島支社クリエイティブ課長大嵩文雄 「逆転の発想」
	27	第1711回	会員卓話（加藤一徳君）「メディア界のビックバン」
9 月	3	第1712回	卓話MBCアナウンサー上野知子「放送とことば」
	10	第1713回	クラブフォーラム（青少年奉仕委員会）
	17	第1714回	卓話(有)ハルコーポレーション代表取締役春田英一朗「今, CATVが面白い」
	24	第1715回	ファイヤーサイドミーティング「観月会」
10 月	1	第1716回	卓話KTSアナウンサー青木隆子「マイ・ブーム絶文」

## 行事・会議実施状況（理事会等）

7 月	2	臨時理事会 事務局員面接	入退会について 候補者5名を面接、丸峯さんを採用
	7	第225回学習会	本年度テーマ「ロータリーの心」25名出席
	9	インターアクト校訪問	I.A年次大会外
	16	97～98アッセンブリー配布	
	21	サンタローザ交換学生ウエルカム パーティー	会長外5名出席
	23	写真付手帖の配布	
	23	臨時理事会	新入会員の配属について
30	"	新入会員について	
8 月	4	第226回学習会	「会員増強、拡大月間」について22名出席
	5	第1回市内会長・幹事会	公式訪問、GSE外について
	6	定例理事会	入会者について
9 月	1	第227回学習会	「新世代月間」について27名出席
	10	定例理事会	職場訪問外
	24	委員長会議	公式訪問外

## 出席状況（毎月ガバナー事務所へ報告）

年	月	ホームクラブ出席率	訂 正 出 席 率
平成9年7月		69.93%	92.25%
8月		76.03%	95.50%
9月		73.85%	92.72%

# 各委員会報告

## 会計報告

会計：小園 正人

### 基本方針及び計画

1. 全資産、記帳、資金の受払いに対し、年1回あるいは理事会の要請があれば、その度説明を行う。
2. 本クラブの会計事務は年1回公認会計士の監査を受ける。

### 活動実績

毎月15日支払一覧表を事務局より提出させ、会計、幹事で承認後支払をさせている。

## クラブ奉仕委員会

委員長：海江田 卓

委員：(副) 太原 春雄・小山 幸義・中川 宏・佐伯 寿郎・  
山下 健・長柄 英男・川平建次郎・坂元 明雄・  
柴山 一清・中村 一雄

### 基本方針

クラブ奉仕は、クラブ機構の最も重要な要素であることを自覚し、生き生きと機能するクラブ作りを図る。

### 本年度の計画

- (1) クラブがうまく機能するため、退会者数をできるだけ抑え、会員の純増に努める。
- (2) 例会を魅力あるものにするため、プログラムの充実を図り、運営に工夫を加え、出席率の向上に努める。
- (3) 学習会やインフォーマル・ミーティングを通じ、新入会員と早期に融和できるようにする。

### 活動実績

- (1) 会員の努力により、毎月新入会員を迎えることができ、会員数は漸増の方向を示して

いる。

- (2) 例会開始前の待ち時間を活用するため親睦コーナーを設けたり、座席配置に工夫をこらすなどして、出席率を上げることができた。
- (3) 新入会員の啓発を主とする月1回の学習会の出席数も会を重ねるたびに増え、内容も一層充実してきている。

10月に本年度新入会員と関係委員による研修会（オリエンテーション）を計画している。

- (4) 9月に第一回の全委員長会を開き、行事の細部にわたる確認と、クラブ運営上の諸問題を検討した。

## 会 員 増 強 委 員 会

委員長：小 山 幸 義

委 員：（副）古木 圭介・三角桂次郎・田中 寛吉・中尾 正昭

### 基 本 方 針

クラブの活性化のために、明朗で活動的な人に、多数入会して戴きたい。

そのために、職業分類、会員選考の両委員会と連携を保ちながら、年令的、職業的なバランスに留意しつつ、積極的な会員増強を計って行きたい。

### 本 年 度 の 計 画

1. 特に未充塲部門の職業の方に入会してもらえる様、クラブ会員の皆様に御推薦等御協力をお願いしたい。
2. 常時100名程度の在会者が望ましいとのクラブの方針に基き、積極的会員獲得に努める。

### 活 動 実 績

会長以下全会員の御協力を得、現在（9月末日）で97名の会員になった。情報委員会の主催で会員増強月間に新入会員を中心に、オリエンテーション的な事を行い、短期退会々員の防止策（消極的増強）にもなったと思う。

# 会 員 選 考 委 員 会

委員長：中 川 宏

委 員：(副)江夏 洋・玉川 哲生

## 基 本 方 針

1. ロータリアンとしての義務活動を支障なく果せる事
2. 出席の義務をはたせる事  
上記を基準に会員拡大を計りたい。

## 本年度の計画

例会に規則正しく出席する。

会員増強と連絡を密にしすぐれた会員の増強につとめたい。

## 活 動 実 績

今期7月～9月迄入会者6名の審議面接を行った。

# 職 業 分 類 委 員 会

委員長：佐 伯 壽 郎

委 員：(副)岩元 基・木治屋克己・平岡 禎吉・森永 茂樹

## 基 本 方 針

これまでの調査結果を参考に、地域社会の職業分類について調査し、これに対する充填並びに未充填職業分類表を作成して、職業分類上から見た会員構成の改善点を検討する。

## 本年度の計画

- ① 地域社会の職業分類と、これに対する充填並びに未充填職業の分類表を、正会員及びシニア・アクティブ会員同時に作成する。
- ② バランスのとれた会員構成を目標に、クラブ奉仕、会員増強、会員選考の各委員会と協力し、未充填職業の会員獲得に努力する。

## 活 動 実 績

- ① 職業分類表を新たに作成し正会員、シニアアクティブ会員の並記、シニアアクティブ会員の元職業分類を明解にし強員を計り易くした。
- ② 6名の未充填職業の会員獲得が出来ました。

## 出席委員会

委員長：山下 健

委員：(副)宮脇眞一郎・三反田藤男・田崎 一郎・中園 雅治

### 基本方針

例会に規則正しく出席する事がクラブ会員の条件であり、親睦と奉仕への出発点であります。

会員の理解と認識を深め出席率向上に全力投球する。

### 本年度の計画

1. 例会出席率向上のため、各委員会との連携を計り楽しい例会づくりに努力する。
2. 出席率100%の日(年5回位)を設定し完全消化を目指す。
3. 例会欠席者に対し各クラブの例会日、その他を連絡、メイクアップする様奨励する。
4. 優秀な出席記録を持つ会員を発表し記念品等の贈呈をする。

### 活動実績

1. 出席率に対する会員の理解と認識を深めるため毎例会日迄の出席率を発表してみる。
2. メイクアップなど会員に対しその実地を文書にて奨励している。
3. 8月6日第1709例会、訂正出席率100%を達成

## 親睦委員会

委員長：長柄 英男

委員：(副)正 建二郎・深尾 兼好・諏訪園 励・鉾之原大助・  
藤安 秀一・藤井 寛久・村田 龍宏・日高 好久・  
諫山 清隆・江口 一・深掘 孝・森田 幸治・  
下田 時生・徳留 忠敬・藤川 毅

### 基本方針

会員相互の知り合いを広め、友情を増進する。この目的のために例会を楽しく意義あるものにするため協力し、参陸会、レクリエーション、その他の親睦活動を企画、運営する。

## 本年度の計画

- (1) 年4回の参陸会を実施する。観月会、クリスマス家族会等、各会の特徴に合った印象的な内容を企画する。
- (2) 有志によるゴルフコンペを年4会実施する。
- (3) 2年未満の新入会員との親睦を計るため親睦行事への積極的な参画を促す。
- (4) ニコニコBOXの件数を増やし会員相互の情報交換を密にする。

## 活動実績

- (1) 観月会を去る9月24日行い68名の出席であり盛会でした。
- (2) ゴルフコンペ(9月17日)雨のため延期10月12日開催予定

## ロータリー情報委員会

委員長：川平 建次郎

委員：(副)中嶋 健・高井 敏治・片平 可也・  
染川 周郎・高橋 良明

## 基本方針(手続要覧・1995・P278)

1. 会員候補者にロータリー・クラブ会員の特典と責務に関する情報を提供する。
2. 会員、特に新会員に、会員の特典と責務に関する適切な理解を与えるよう指導する。
3. 会員に、ロータリーの歴史、綱領、規模、活動等に関する情報を提供して、より深い理解の場を提供する。
4. 会員に、国際ロータリーの管理運営の動向についての情報を提供する方策を考案し、これを実施する。

## 本年度の計画

1. 会員候補者の推薦者・会員増強委員会・会員選考委員会・職業分類委員会等、入会に関する各委員会および幹事のご協力を頂きながら、新会員に対して、個別的に、「入会時オリエンテーション」を実施する。
2. 新会員が、入会后数ヶ月を経過した頃、新会員に対して、数名を単位として、「新会員との懇談会」を実施する。
3. 会員および新会員を対象として、「月例・学習会」を充実させる。  
(第1月曜日・午後6時半～8時半・ワシントンホテル2階)

- (1) 国際ロータリーの「月間テーマ」に準拠したプログラム。
- (2) 奉仕の四つの部門それぞれについて、ロータリアン個人の知識と行動を増幅するようなプログラム。
- (3) その他、臨機応変のプログラム。

#### 活動実績

1. 新入会（6名）の皆様には、「入会式・バッジ贈呈式」において、資料をお渡しし、「例会と学習会への出席奨励」等のオリエンテーションを実施した。
2. 10月15日、「6名の新入会員と情報委員の懇親会」を実施。  
（会長・幹事・副会長・前年度情報委員にも加っていた）
3. 「ポケット版会員名簿」を作成した。（幹事の発案により、今年度初めて作成した・毎年作り直す）
4. 「月例・学習会」会員および新入会員を対象として、毎月実施している。（10月は通算228回目であった）ロータリーを見つめる上で、例会よりも数段上回っていると好評である。会の概況は当番制で「週報」に投稿している。
5. 委員長は地区行事（協議会・委員長会）に参加した。
6. 各種書式の作成を模索中である。

## 会報・雑誌委員会

委員長：坂元明雄

委員：（副）山下皓三・山元正明・本田亨・小田代憲一

#### 基本方針

1. 毎週例会毎にクラブ週報を発行し、クラブ内外の情報を伝達する
2. ロータリーの友、ガバナー月信を積極的に愛読するように奨励し、必要あればその内容についても紹介する機会を設ける
3. クラブの活動状況等の記録を残す

#### 本年度の計画

1. 週報の内容充実に努力する
2. 各委員会と連絡を密にして、情報の提供をお願いする
3. クラブ内にインターネットのホームページ開設に就いて、検討する



## 活動実績

1. 基本方針に基いた記録の伝達・保存に必要な情報の外に、月毎に決められたR Iの標榜テーマに関する小論文、ゲスト・会員の卓話、ロータリーの言葉（例えばS. A. A. ライラ等）の紹介・解説、学習会報告等を編集・印刷する。
2. 健康一口メモ（医師・歯科医師全員の執筆による）の項を再開した。

## プログラム委員会

委員長：柴 山 一 清

委員：（副）加藤 一徳・水淵 清治・松田 忠臣・樋渡 良一・  
東郷 三郎

## 基本方針

会員相互の理解と親睦を得られるように、もれなく新入会員の卓話の機会を設け、併せて今年度の地区大会のテーマ「ロータリーの心を」の精神を實踐できるような卓話も計画したい。

## 本年度の計画

1. 会員卓話の機会を出来るだけ多くする。
2. 環境問題について啓蒙するような卓話も計画したい。
3. 地区大会のテーマまたは各月間に沿った活動をしている団体個人を探して卓話をお願いする。

## 活動実績

1. 7・8月は会員卓話をお願いして、それぞれ専門的な立場での有意義な話が聞けた。
2. 9・10月はそれぞれの放送局で活躍中の女性アナウンサーに卓話をお願いして日頃聞けない話をさせていただき有意義であった。

## 広 報 委 員 会

委員長：中 村 一 雄

委 員：(副) 江口 清隆・村田 和雄・別府 洋

### 基 本 方 針

ロータリーの目的と業績を広く一般に理解してもらうために、その歴史、綱領、規模に関する情報を地域の人々に伝えるよう広報に努める。

### 本年度の計画

1. 奉仕活動の実体を社会一般に知ってもらうよう地元報道機関に重要なクラブプロジェクトを広報します。
2. 各委員会の奉仕活動の中で、会員の方々にも広報活動をお願いします。

### 活 動 実 績

7月23日サンタローザ交換学生歓迎例会の様子をTV取材放送をしてもらう。

## S A A 委 員 会

委員長：板 木 泰 文

委 員：(副) 中村 英幸・諏訪園 隆

### 基 本 方 針

例会場の気品を保ち、例会が秩序正しく運営されるよう努める。  
また、会員間の親睦を図るための会場作りをする。

### 本年度の計画

1. 会員相互の親睦を強化する為、座席の配置を工夫したい。
2. ビジターの送迎を大事にしたい。
3. 1時間前に会場入りし、幹事との打合せを綿密にしたい。
4. 工夫をこらした司会進行に徹する。
5. 親睦委員との打合せを月に1回行う。

## 活動実績

1. 会員・ビジター席の固定化を少なくし会員間の親睦を深めている。
2. 幹事との事前打合せで、例会運営はスムーズに行われている。
3. 親睦委員と月一回の会合を持ち委員会活動に連帯を計っている。
4. 西R.C友愛コーナーを新設（コーヒー・ワインを提供）例会前の親睦増進に寄与している。

## 職業奉仕委員会

委員長：有馬 戦 男

委員：（副）山田 晴彬・岩男 秀彦・竹下 威・坂木 貞剛

### 基本方針

職業奉仕は、ロータリークラブと会員の双方の責務であるというR I職業奉仕委員会の方針に従ってより高い倫理観、視野の広い道徳観をもち、職業奉仕の理想を実現普及するよう奨励する。

### 本年度の計画

1. 職業奉仕の認識を高めることを目標に基本方針である「職業宣言」を例会場に掲示する。
2. ボランティア委員会と協力し、会員個人ならびロータリークラブとしてのボランティア活動に取組めるよう推進する。
3. 職場訪問を実施する。
4. クラブ会員の推薦を受け、隠れた優良従業員の表彰を行う。
5. 青少年奉仕委員会と協力、インターアクト高校における職業選択フォーラムを計画している。
6. 四つのテスト唱和の実施
7. クラブ会員それぞれ職業奉仕の実態や認識理解する機会を設けたい。
8. 地域ボランティア団体名を把握し活動内容の充実を計りたい。

### 活動実績

1. 例会場前面に「職業宣言」を掲示している。
2. 四つのテストの唱和を月の最終例会で実施している。

3. 例会とは別に職業奉仕についての学習会をした。
4. 10月8日職業奉仕についてクラブフォーラム
5. 10月15日新しく出来た「鹿児島水族館」を職場訪問

## ボランティア委員会

委員長：水 流 洋

委員：(副) 山下 皓三・古木 圭介・江夏 洋・岩元 基・  
宮脇真一郎・正 建二郎・中島 健・加藤 一徳・  
江口 清孝・山田 晴彬・菅 富男・福地 眞・  
山下 和磨・池田勝一郎・黒木 幸一・新川 靖博

### 基本方針

ロータリーのモットーである「超我の奉仕」の精神を喚起し、ボランティア活動をとおして地域社会に奉仕する。

職業奉仕委員会をはじめ社会奉仕委員会など各委員会と緊密に協力しながら奉仕活動をする。

### 本年度の計画

1. ボランティア奉仕活動についての理解と啓蒙(学習会)を行う。
2. 各会員の活動についてアンケート調査を行い、ロータリアンの広範囲な技能を活かした活動を推進する。
3. 社会の弱者といわれる老人をはじめ障害をもつ人達に対するボランティア活動を計画検討する。

### 活動実績

1. 9月23日実施した、身体障害者に対する「ひまわり電車を走らせる会」のボランティア活動にロータリアンならびに会員関係企業社員への参加協力を要請
2. 11月9日行われる鹿児島市福祉ふれあいフェスティバルへの協力参加へ啓蒙を行う。

# 社会奉仕委員会

委員長：野添良隆

委員（副）菅 富男・池口 恵観・岩元 紀彦

## 基本方針

社会の変化に応じて地域社会のニーズを調査検討し、その中で、必要の高いもの、実践の可能なものを会員各々が奉仕活動すべく努力する。

## 本年度の計画

### I. 継続プログラムは従来通り実行する。

#### ① ロータリー賞

社会奉仕実践者に対して、毎年贈っている「ロータリー賞」を継続実施する。

#### ② 県立図書館の「鹿児島西ロータリー・クラブ青少年文庫」に追加献本する。

#### ③ 社会福祉施設「ゆうかり学園」の訪問。

#### ④ 西駅前清掃（RAC協同）

### II. 新しいプログラムの試み

ロータリーが協力出来るものを探り、出来ることから実行する。

#### ① 桜・花・桃の苗木を「ゆうかり学園」、「鹿児島高校」、「鶴丸高校」等に植樹する。

#### ② 「ゆうかり学園」訪問の際、音楽会や医科、歯科健診相談事業をおこなう。

#### ③ プロバス・クラブの設立を検討する。

## 活動実績

鹿児島西ロータリークラブ退会者を中心としてプロバスクラブ年内設立に向けて準備中

# ローターアクト委員会

委員長：南 徹

委員：（副）福地 眞・大平 重隆・松山 健一・有働 裕史・  
長船 康治

## 基本方針

国際ロータリーによって規定される、「標準ローターアクトクラブ定款、細則」に則り、ローターアクト会員がクラブ参画の意義を自らの力で見いだせるよう助言、指導、協

力する。会員各自が自らの力で考え、行動し、他との進歩的調和を計り、自立の精神樹立の自己啓発に努められるように助言していく。

1. 指導能力開発の助言。
2. 個人の価値を認める考え方に立脚して、他人の権利を尊重する観念を養えるように。
3. すべての有用な職業は社会に奉仕する機会であるとして、その品位と価値を認識できるように。
4. 指導者としての資質という面でも、職業上の責務を遂行するという面でも、道徳的基準が大切であることを認識してもらい、実践、推進するように。
5. 地域社会と世界各地のニーズ、問題、機会に対する知識と理解を深められるように。
6. 地域社会に奉仕し、かつ、国際理解と全人類に対する善意を推進するために、個人として、また、団体として、活動する機会を積極的に求めるように。

## 本年度の計画

1. 会員増強及び、会員相互の意思の疎通に協力する。
2. ローターアクト会員としての誇りを各会員が見出せるように各種活動にロータリアンの参加を奨励する。
  - (1) ローターアクトクラブ例会
    - ・第一、三木曜日、午後7時～9時、青少年会館／鴨池新町
  - (2) ローターアクトの意義を再認識する為のキャンプ
    - ・7月5日（土）～6日（日）場所：坊津丸木浜
  - (3) ロータリアンの卓話（2カ月に1回）
  - (4) JR西鹿兒島駅前の清掃作業（第1日曜日・午前6時半）
  - (5) 「愛の聖母園」訪問（第一日曜日・清掃作業のあと）
  - (6) 各種研修会参加（クラブ内、分区内、地区内、RYLA、その他）
  - (7) 内外クラブとの交歓会
  - (8) クリスマス会、忘年会、年度末パーティー等会員親睦会

## 活動実績

1. 会員増強：17名より2名加わり、現在19名
2. 訪韓研修旅行：2名参加
3. キャンプ（川辺郡坊津町丸木浜）：ローターアクト10名、ロータリー4名（会長・幹事・会員2名）参加者計14名
4. 卓話依頼：愛の聖母園（上原康祐様）、カラーコーディネーター、イル・ド・クルール（松本しょうこ様）、太極拳（前田修様）  
他：企画された行事、例会等の遂行

## 青少年奉仕委員会

委員長：竹下 洋

委員：(副) 山下 和磨・若松喜八郎・桜美 義明

### 基本方針

インターアクト委員会と連絡を密にし、青少年に直接接し、共に行動する機会を作り、魅力ある楽しい青少年活動を通じて、立派な若い指導者が育つように努力する。

### 本年度の計画

- ① 青少年の活動及び会合に積極的に協力する。
- ② ライラの参加者を広くロータリアンに推選してもらう。
- ③ インターアクトの活動に協力する。

### 活動実績

- ① 9月10日の例会でクラブフォーラムを開催
- ② 11月15日の職業選択フォーラムに向けてインターアクト委員会、職業奉仕ボランティア委員会に協力していきたい。

## インターアクト委員会

委員長：玉利 賢介

委員：(副) 池田勝一郎・永松 実夫・福田 一郎

### 基本方針

1. 青少年が現在と将来に社会奉仕の理念追及のための活動が出来るように動機づけを行う。
2. 鶴丸・鹿児島両校のインターアクトクラブ会員、指導教諭との連絡、相互理解を密にして活動への参加と必要な援助を行う。

### 本年度の計画

1. インターアクト年次大会への参加、助成(8/1~3)
2. インターアクト協議会への参加
3. 会員増強についての検討を行い協力する。

4. 国際奉仕委員会と協力して、サンタローザ交換学生と親睦をはかる。
5. 職業選択フォーラムの継続

## 活動実績

- ・1964年10月 8日 鶴丸高校
  - ・1971年 6月17日 鹿児島高校
- 1. 6月13日 サンロイヤルホテルでインターアクト連絡協議会に出席  
第33回インターアクト年次大会に付いて協議
- 2. 8月1～3日 第33回インターアクト年次大会へ出席  
テーマ「心と心の手をつなごう」  
参加人員、鹿児島高校男子5名、女子2名、指導教諭1名  
グループディスカッションのテーマは「いじめ」「自然破壊」「国際交流」
- 3. 7月20日～8月4日（7月27日） サンタローザから高校生7名が来鹿、県下にホームステイ指宿方面に1日バスツアー  
ホストファミリーと一緒にインターアクトクラブの鹿児島高校と鶴丸高校の生徒を参加させました。  
今年で第11回になりますが、サンライズR、鹿児島西Rの両クラブの協力により鹿児島サンタローザ友好協会が中心になり毎年行っている行事です。  
国際奉仕の行事の一環ですがインターアクトクラブも協力して高校生同志の親睦と国際友好を目的としています。
- 4. 11月15日 職業選択フォーラムを計画  
趣 旨 将来の進路をどうするか、将来の職業として何を選択すればよいか悩んでいる生徒の為に多くのパネラーを集めて行う。
- 5. 継続事行 鹿児島西ロータリー奨学金制度  
毎年、鹿児島高校3名、鶴丸高校3名、月1万円計72万円の奨学金制度を設けております。



# 国際奉仕委員会

委員長：天本美信

委員：(副)黒木幸一・徳田基・上原満・前田樹一郎

## 基本方針

RI会長のテーマ「ロータリーの心を」Show Rotary Caresを良く理解し、ロータリー活動をつうじて世界の人々との理解と親善を推進して、国際平和に寄与することを基本方針とする。

## 本年度の計画

1. サンタローザ交換学生の受け入れに協力する。  
(当該計画はインターアクト委員会と青少年奉仕委員会と連携して行なう。)
2. 世界理解月間、国際奉仕について会員の理解を深め、情報を提供する。
3. その他、地区及び他委員会の計画に協力する。

## 活動実績

鹿児島サンタローザ友好協会主催のサンタローザと鹿児島島の学生交換プログラムにより、7月20日サンタローザより7名が来鹿、7月21日のウェルカムパーティー、7月23日の鹿児島西ロータリークラブ例会出席招待、7月28日鶴丸高校、鹿児島高校インターアクトクラブとの1日指宿旅行、8月2日さよならパーティーなど、鹿児島での楽しい思い出を胸に8月4日、離鹿無事帰国しました。又、10月22日鹿児島西ロータリークラブ例会にサンタローザ鹿児島友好協会々長ファーン・バジャーご夫妻が出席の予定です。

# ロータリー財団・米山奨学委員会

委員長：須田正己

委員：(副)新川靖博・福田正臣・原田隼男

## 基本方針

ロータリー財団と米山奨学会の目的及び活動状況を会員に理解してもらう。

## 本年度の計画

1. 米山奨学生のカウンセラーとしての委員会全員の認識を深める。
2. クラブの据え置きクレジットの有効的活用とそれに供うポールハリスフェロー、準フェローの増加につとめる。
3. 米山奨学会への理解を深め、ベネファクターの増加につとめる。

## 活動実績

1. ロータリー財団当年度1人当の寄付額で2730地区で第1位。
2. マルチプル・フェロー6名  
ポール・ハリス・フェロー20名を達成
3. 米山奨学金への協力